

## 岩手県剣道連盟 医療安全委員会の緊急提言

### 『新型コロナウイルス感染症の発生を県内で防止するためのお願い』

新型コロナウイルス感染症が日本中で急増しております。ご存知の様にこのウイルスはインフルエンザとは異なり、感染してもすぐに症状が出ない、潜伏期間が長い（感染した人が発症して診断に至るまでに平均7日もかかる）、そのため感染者を中心に感染集団（クラスター）ができ、急速に広がるのがわかっています。

現在のところは、治療薬も限定的であり、とにかく感染を広げない（公衆衛生学的な対応）が主眼となります。（SARS、エボラ出血熱用の抗ウイルス薬、アビガンは有効性がある様ですが、供給も不透明で、早期治療でないと治療効果が低下、妊婦などへの投与は不可）

**3密（密閉、密集、密接）**を避けることが基本になりますが、**剣道では対人稽古においてこの条件が全て含まれています**。それ故現在の感染が拡大している状況下では、**集団発生を避けるために対人稽古を中止する必要がある**と考えます。

また、残念ながら恐れていた事例が発生している様です。愛知県警における15名のクラスター発生は**稽古における感染が原因**と思われれます。

(<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200405/k10012369081000.html>)。

少人数の稽古でもこの状況は回避できるものではないと考えます（**一人稽古の推奨**）。

全日本剣道連盟医科学委員会の提言『**新型コロナウイルス感染症の集団発生を防止するためのお願い**』を十分に理解していただき、健康の維持に努め、行動変容を行うことが重要です。

個人的な見解ですが、岩手では感染者が出ていないためか危機感が少ないのではと感じ大変危惧しています。（岩手では単にクラスターの発生がないことやPCR検査があまり行われていないことにも関係していると思います。実際には感染者は間違いなく存在します。）

最近では首都圏での感染者増加のためいわゆる「コロナ疎開」（安心のため地元岩手に戻ってくる）人が多くなっています。今の時期だからこそ再度気を引き締め、危機対応を再考する必要があると思います。

極端な例かもしれませんが私自身は、皆様一人一人が自分は感染していると

想定し行動する意識が必要だと思っています。

むやみに恐れる事はありませんが、情勢、状況に応じた冷静な対策が重要です。岩手県の剣道人から感染者を出さないためにも皆様の危機管理、行動変容をお願いいたします。

正念場はこれからです。剣道家であるからこそ我慢をし、この危機的状況に耐える精神力、知恵をフルに生かしていただきたい。一人稽古で想像力を鍛え、剣道を見直すいい時期になればと考えています。

2020. 4. 6

医療安全委員会 川上 格